

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		事業番号、事業名				補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
1	せはやかわ 瀬早川 かみじゆく 上宿 (佐久市)	砂防堰堤工 2基 2号H=8.0m L=58.0m 3号H=7.0m L=36.0m 土石流堆積工 1式 (工期:H15~H24)	用地測量 1式 用地補償 1式	土石流堆積工 1式	土石流堆積工 1式	評価時 (変更) H24	87%	H24に土石流堆積工の本工事に着手予定	近年に災害が発生しており、地元要望が大変高い。また、保全対象も多数あり必要性が高いため、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「縮小」
						必要性 A	特記事項 H24変更:1号堰堤予定箇所の用地買収において、地元調整難航により、堰堤3基を2基とする。事業費4億5400万円減				
						重要性 A					
						効率性 A					
	3億2900万円	300万円	6000万円	6000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
2	ぶどうまわ 武道沢 ぶどうはら 武道原 (佐久市)	砂防堰堤工 1基 H=11.0m L=62.0m (工期:H20~H25)	用地測量 1式 用地補償 1式	用地補償 1式 付替道路工 L=350m	砂防堰堤工 H=11.0m L=62.0m	評価時 (当初) H20	29%	計画どおり進んでいる。 H22年度詳細設計が完了し、H23年度用地買収に着手、H24年度に工事着手。	平成19年8月の台風9号において、流域内の荒廃が進み、また倒木が多数存在することから、土石流の発生が懸念され、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。				
						重要性 A					
						効率性 A					
	2億円	1940万円	3000万円	1億3366万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
3	おおぬまわ 大沼沢 くろた 黒田 (佐久市)	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=33.9m (工期:H22~H25)	用地測量 1式 用地補償 1式	用地補償 1式 工事用道路工 L=450m	堰堤工 鋼製スリット部	評価時 (当初) H22	75%	計画どおり進んでいる。 H24は砂防堰堤の本工事に着手予定。	平成19年8月の台風9号において、流域内の荒廃が進み、また倒木が多数存在することから、土石流の発生が懸念され、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A					
						効率性 A					
	1億5000万円	660万円	3000万円	1億3030万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別	補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
4	とろろさわ 所沢 にかみず 苦水 (佐久市)	砂防堰堤工 3基 H=5.0m L=20.0m H=5.5m L=30.0m H=8.5m L=62.0m (工期:H23~H28)	地形測量 地質調査 詳細設計	用地測量 工事用道路工	堰堤工 3基	評価時 (当初) H23	8%	計画どおり進んでいる。 H23.8月に関係者を集め、説明会を実施し、 概ねの了解を得た。H24に工事用道路着手 予定。	当流域には、不安定な 深床堆積物と多くの倒 木が存在しており、次 期降雨による土砂と流 木の流出と保全対象へ の被害が懸念される。 保全対象には人家70 戸、国道254号が含ま れており、速やかな土 砂災害対策が必要で ある。	重要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。				
						重要性 A					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=11.67			
	4億円	2400万円	2000万円	3億7600万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
5	あまやま 秋山沢 あまやま 秋山 (川上村)	砂防堰堤工 2基 H=12.0m L=76.0m H=13.0m L=72.0m 山腹工(丸太柵 工)1800m3 (工期:H22~H29)	用地測量 1式 用地補償 1式	1号堰堤 測量・調査・設計 1式 2号堰堤工 本工事	1号堰堤工 山腹工 2号堰堤	評価時 (当初) H22	5%	計画どおり進んでいる。 H24は、2号堰堤の本工事着手予定。	流域内には急峻な地形で あり、脆弱なため山腹 のいたるところで崩壊 が生じている。下流域 には保全対象である人 家・公共施設・緊急輸 送路(村道・県道)があ り、保全の必要性は非 常に高い。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=2.52			
	9億1900万円	670万円	9000万円	9億40万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
6	にしまるさわ 西丸沢 さかうえ 坂上 (北相木村)	砂防堰堤工 2基 1号H=6.5m L=31.0m 2号H=9.0m L=32.0m (工期:H21~H25)	砂防堰堤工1基 1号 H=6.5mL=31.0m	砂防堰堤工 H=9.0m L=32m V=620m3	砂防堰堤工1基 2号H=9.0mL=32.0m	評価時 (当初) H21	32%	計画どおり進んでいる。 H24は2号堰堤の工事用道路に着手予定。	渓流沿いには深岸浸 食・倒木が見られ、集 中豪雨等により土石 流、流木の発生が懸念 される。保全対象には 保育園、老人養護施設 の要援護者施設もある ことから、砂防堰堤工 による速やかな土砂災 害対策が必要である。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 B					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=6.72			
	3億円	7020万円	6000万円	1億9180万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (変更)	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
7	おごまわ 和合沢 しんでん 新田 (上田市)	砂防堰堤工 1号H=11.0mL=35.0m (工期:H20~H24)	砂防堰堤工 1号 H=0m L=10.0m	砂防堰堤工 1号 H=11.0m L=35.0m	砂防堰堤工 1号 H=11.0m L=35.0m	評価時 (変更) H24	77%	H24完了予定。	保全対象には、人家 391戸、国立病院機構 長野病院、上田市立第 3中学校や基幹道路で ある国道18号バイパス を有し、必要性・重要 性・緊急性が高いた め、平成24年度完了を 図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」	
		2億220万円	7000万円	4500万円	4500万円	必要性 A	特記事項 H24変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、砂防堰堤 基数を2基から1基とする。					
						重要性 A						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=79.68				
					緊急性 A	住民参加状況等 土砂法指定時に堰堤設置の要望あり。						
8	うどつまわか ウドツ沢 みしあらい 上塩尻 (上田市)	砂防堰堤工 1基 H=14.5mL=50.5m (工期:H23~H26)	地形測量 1式 地質調査 1式 砂防堰堤詳細設 計 1式	工用道路測量 設計1式 用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 H=14.5mL=50.5m	評価時 (当初) H23	8%	計画どおり進んでいる。 H23は測量、地質調査、砂防堰堤設計を実施	当流域は、未整備の土 石流危険渓流 であ る。保全対象には、災 害時要援護者施設(重 要)、公民館(避難所)、 市道があり砂防堰堤工 による早急な土砂災害 対策が必要である。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」	
		2億円	1500万円	1500万円	1億8500万円	必要性 A	特記事項 特になし					
						重要性 C						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=10.82				
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし						
9	うすかわ 白川 いりならもと 入奈良本 (青木村)	砂防堰堤工 H=18.5m L=76.0m (工期:H13~H25)	砂防堰堤工 H=5.0m,L=70.5m	砂防堰堤工 H=1.5m,L=76.0m	砂防堰堤工	評価時 (変更) H22	71%	計画どおり進んでいる。 H20に本堤工事に着手。H23に発注した2期 工事でH25完了を目指す。	当流域は、渓床の不安 定な堆積物が非常に多 く、降雨時の土砂流出 の危険性が高い。保全 対象には、人家16戸、 県道、観光施設があり 砂防堰堤工による早急 な土砂災害対策が必要 である。	重要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」	
		9億7000万円	4750万円	1億4500万円	2億7720万円	必要性 B	特記事項 H22再評価:コスト縮減を図り見直して継続					
						重要性 A						
						効率性 B		B/C(費用対効果)=1.26				
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
10	なかのくみさわ 中之組沢 ほら 洞 (青木村)	砂防堰堤 前処理工 1式 渓流保全工 L=250m (工期:H24~H25)		砂防堰堤 前処理工 1式	渓流保全工 L=250m	評価時 (当初) H24	0%	計画どおり進んでいる。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域に被害を与えた。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
						必要性 B						
						重要性 A						
						効率性 A						
	1億円	円	6000万円	1億円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
11	ならおがわ 奈良尾川 奈良尾 原 (青木村)	山腹工 A=1000m2 (工期:H24~H24)		山腹工 A=1000m2	山腹工 A=1000m2	評価時 (当初) H24	0%	計画どおり進んでいる。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域に被害を与えた。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 C						
						重要性 A						
						効率性 B						
	3000万円	円	3000万円	3000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
					特記事項 H22:災害関連緊急砂防事業対応箇所 H23:砂防(特緊) B/C(費用対効果)=1.62							
					特記事項 H22:災害関連緊急砂防事業対応箇所 H23:砂防(特緊) B/C(費用対効果)=1.01							
12	ひなたさわ 日向沢 ほら 原 (長和町)	砂防堰堤工 2基 1号H=10.5m L=98.0m 2号H=6.0m L=62.5m (工期:H21~H27)	用地測量 1式 用地補償 1式	工事用道路工 L=695.8m	砂防堰堤工 2基 1号 H=10.5mL=98.0m 2号 H=6.0m L=62.5m	評価時 (変更) H22	16%	H24は工事用道路に着手予定。	当流域は、不安定な深床堆積物が多く、降雨時の土砂流出の危険性が高い。保全対象には、災害者要援護者施設(保育園)、小学校、国道142号があり砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
						必要性 A						
						重要性 A						
						効率性 A						
	3億円	1500万円	3000万円	2億5108万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
					特記事項 H22計画変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、砂防堰堤基数を3基から2基とする。 H24変更:工期1年増							

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
16	桑原二沢 <small>(おぼろにき 桑原)</small> (諏訪市)	砂防堰堤工 2基 北沢 H=11.5mL=75.0m 南沢H=13.5m L=69m (工期:H20~H26)	用地測量 用地補償 1式	砂防堰堤工 1基 南沢 H=13.5mL=69m 付替道路L=250m	砂防堰堤工 1基 北沢 H=11.5mL=75m	評価時 (当初) H20	23%	計画どおり進んでいる。 H24に砂防堰堤着手予定。	平成18年7月の梅雨前線豪雨により流域が荒廃し、次期降雨により土石流発生の危険性が高い。保全対象には災害時要援護者施設や人家等、多数の保全対象があり、砂防堰堤工による土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		4億5000万円		2690万円	1億6000万円	3億6920万円	必要性 B	特記事項 特になし				
							重要性 A					
							効率性 A					B/C(費用対効果)=32.53
							緊急性 A					住民参加状況等 特になし
17	権現沢川 <small>(ごんげんきわ 権現沢川 大熊上)</small> (諏訪市)	砂防堰堤工 1基 2号H= 8.0m L=69.0m (工期:H24~H25)	-	用地補償 1式 付替道路 1式	用地補償 1式 付替道路 1式	評価時 (当初) H24	0%	計画どおり進んでいる。	当流域には、不安定な溪床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には防災施設、公民館が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		2億円		円	1億円	2億円	必要性 A	特記事項 平成21年8月台風9号において土石流が発生。治山事業と事業調整を図っている。 H21:災害関連緊急砂防事業(1号堰堤) H22,23:砂防(特緊)(2号堰堤)				
							重要性 A					
							効率性 A					B/C(費用対効果)=10.88
							緊急性 A					住民参加状況等 特になし
18	ヨキトギ川 <small>(がわ 安国寺)</small> (茅野市)	砂防堰堤工 H=10.0mL=106m (工期:H22~H26)	測量設計 用地補償 1式	用地補償 1式	砂防堰堤工 H=10.0mL=106m	評価時 (変更) H24	15%	計画どおり進んでいる。 H24は測量、設計、用地買収及び一部付替道路に着手予定。	当流域には、いたるところで表層の崩壊が発生しており、それに伴い、溪床には不安定な土砂と、倒木が多く存在している。保全人家が多く、土砂流出のさいには更に第一次緊急輸送路(国152号)への交通遮断が予想されるため、直接被害のみならず、災害時の広域的な影響が予想されるため、速やかな土砂災害対策が必要である	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		2億2000万円		2000万円	2000万円	1億8600万4千円	必要性 A	特記事項 H23変更:詳細設計の結果、堰堤1基減 H24変更:事業費の見直し(8000万円減)				
							重要性 A					
							効率性 A					B/C(費用対効果)=25.91
							緊急性 A					住民参加状況等 特になし

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (変更)	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
19	みわいりきわ 沢入沢 なかじょう 中条 (伊那市)	砂防堰堤工 3基 1号H=6.0m L=26.0m 2号H=7.0m L=31.0m 3号H=6.5m L=67.0m 渓流保全工 護岸工 L=450m (工期:H19~H25)	2号砂防堰堤工 H=7.0m L=31.0m 管理用道路工 L=119m	3号砂防堰堤工 H=3.5m L=34.5m	3号砂防堰堤工 H=2.5m L=67.0m 渓流保全工 L=450m	評価時 (変更) H22	57%	計画どおり進んでいる。 平成23年度3号堰堤工事着手し、24年度も 引き続き行う。	土石流による不安定土 砂が多く堆積しており、 今後の降雨による土砂 流出が懸念される。平 成16年10月の台風23 号による土砂流出で は、流下した流木が伊 那市街で水路を塞ぎ被 害を出していることか ら、速やかな対策が必 要である。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」	
		3億2000万円	1750万円	3000万円	1億7090万円	必要性 A	特記事項 H22変更: 溪岸浸食防止のため渓流保全工250m増 B/C(費用対効果)=10.97					
		重要性 A	緊急性 A	住民参加状況等 「砂防等維持管理ボランティア活動支援事業」により、砂防施設 の草刈り等地域住民が実施。								
		効率性 A										
20	しちめんざわ 七面沢 おんしょうじうえ 遠照寺上 (伊那市)	砂防堰堤工1基 H=9.5m,L=56.9m 渓流保全工 護岸工 L=100m (工期:H20~H24)	砂防堰堤工1基 H=9.5m,L=56.9m	用地補償 1式 渓流保全工 護岸工 L=100m	渓流保全工 護岸工 L=100m	評価時 (当初) H20	84%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定。	平成18年7月の豪雨に より、下流市道への土 砂流出が発生すると ともに、流域の荒廃が進 んでいるため、砂防堰 堤工等による速やかな 土砂災害対策が必要で あり、平成24年度完了 を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」	
		2億910万円	2160万円	3400万円	3400万円	必要性 A	特記事項 国重要文化財の釈迦堂が、保全対象となっている。 B/C(費用対効果)=10.27					
		重要性 A	緊急性 A	住民参加状況等 地元関係者を含む景観検討委員会を設置し、施設設計に住民 が参加している。								
		効率性 A										
21	まゑさわか 前沢川 にしはらちが 西春近 (伊那市)	渓流保全工 L=75.2m 堆積工 L=72.5m (工期:H22~H24)	付替道路工 L=60m W=4.0m	護岸工 L=55m 付替道路工 L=160m W=4.0m	護岸工 L=55m 付替道路工 L=160m W=4.0m	評価時 (当初) H22	74%	計画どおりに進んでいる。 H24完了予定。	平成18年7月豪雨によ る土石流災害の復旧工 事であり、堆積工等 による速やかな土砂災害 対策が必要であり、平 成24年度完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」	
		1億9380万円	6000万円	5000万円	5000万円	必要性 B	特記事項 H18: 災害関連緊急砂防事業 H19~H21: 砂防激甚災害対策特別緊急事業 H21: 土石流堆積工 B/C(費用対効果)=4.89					
		重要性 A	緊急性 A	住民参加状況等 付替道路計画に地元意見を聴取								
		効率性 A										

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
22	あおしみずかわ 大清水川 ふるやしき 古屋敷 (伊那市)	砂防堰堤工 2基 1号H=7.5m L=75.6m 2号H=9.5m L=48.0m (工期:H21~H25)	1号砂防堰堤工 H=7.5m L=75.6m 付替道路工 L=60m	1号砂防堰堤工 H=7.5m L=75.6m 2号砂防堰堤工 H=2.5m L=21.0m 管理用道路工 L=135m	1号砂防堰堤工 H=9.5m L=75.6m 2号砂防堰堤工 H=2.5m L=48.0m 管理用道路工 L=135m	評価時 (当初) H21	76%	計画どおり進んでいる。 H24に2号堰堤本工事着手予定。	平成16,18年の豪雨により流域が荒廃し、災害のポテンシャルが高まっている。基礎調査の結果も特別警戒区域内に人家が多く(20戸)、集中豪雨等により土石流発生が懸念されるため、砂防堰堤による土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし
						重要性 A						
						効率性 A						
	2億5900万円	8200万円	8000万円	1億4000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
23	わがまかわ 上穂沢川 みなみわの 南割 (駒ヶ根市)	砂防堰堤工 1基 H=8.0m L=51.0m (工期:H22~H26)	用地測量・用地 補償 1式	工事用道路工 L=430m 砂防堰堤工 1基	砂防堰堤工 1基	評価時 (当初) H22	11%	計画どおり進んでいる。	当流域は、多くの崩壊地があり、溪床には不安定な土砂と倒木が存在する。保全対象には中央自動車道、宿泊施設もあり平成18年7月豪雨災害以降、地元からの土砂災害対策への要望も強く、速やかな施設整備が必要である。	重要性が認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
	2億円	900万円	3500万円	1億7720万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
24	あなやかわ 穴山川 きわそこ 沢底 (辰野町)	3号砂防堰堤 1基 H=7.0m L=49m (工期:H20~H25)	用地測量 用地買収 物件補償	付替道路工 L=380m	砂防堰堤 1基 付替道路工 L=380m	評価時 (変更) H24	35%	H24に工事用道路着手予定。	平成18年7月の豪雨で土砂流出が発生し、平成21年8月にも土石流が発生しており、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 H21年8月台風9号により土砂が流出し被災したことから、1号砂防堰堤は災関対応、2号砂防堰堤はH22~24特緊対応、3号砂防堰堤は通常事業で対応している。 H24変更:工期1年増、事業費の見直し(1億9700万円増)
						重要性 A						
						効率性 A						
	4億1700万円	8390万円	1億3000万円	1億7630万円	緊急性 B	住民参加状況等 H18災害、H21災害を受け、地元の理解と協力がある。						

分野	砂防施設整備		事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)		補助・単独別		補助		建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
25	ぼんがほらま 源ヶ洞沢 わかたわり 北割 (宮田村)	砂防堰堤工(部分透過)H=14.5m L=82.0m V=4,000m3 鋼重4.6t スリットタイプCBBO型 渓流保全工L=120m 付替道路工L=340m (工期:H21~H26)	付替林道工 L=113.7m W=3.0(4.0)m	砂防堰堤工(部分透過)H=14.5m L=82.0m V=4,000m3	砂防堰堤工(部分透過)H=14.5m L=82.0m V=4,000m3	評価時 (変更) H22	22%	計画どおり進んでいる。 H24年度は砂防堰堤の本工事に着手予定。	当流域は、S58、H11に土石流災害が発生しており、流域の荒廃は著しく、渓床には多くの不安定土砂と倒木が存在している。砂防堰堤による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H22変更: 渓岸浸食防止のため渓流保全工120m増 H24変更: 事業費の見直し
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。											
26	しあたまわかわ 塩田沢川 たつえ 龍江 (飯田市)	砂防堰堤工 1基 H=7.0m,L=37.0m 渓流保全工 L=113.0m (工期:H22~H25)	用地補償 1式	管理用道路工 L=108m 用地補償 1式	砂防堰堤堤工 本堤工 H=7.0mL=37.0m 渓流保全工 L=113m	評価時 (当初) H22	82%	H25完了予定。	当流域は、渓岸浸食が著しく、渓流内には多くの倒木が存在する。保全対象には緊急輸送路(飯田富山佐久間線)があり、土砂流出時には保全対象への直接的な被害のみならず広域的な影響が懸念されるため、速やかな土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 H24変更: 工期1年増
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。											
27	うめくほさまわ 梅の久保沢 こどうき 小道木 (飯田市)	山腹工 植生工 A=1,500m2 土留工 4基 (工期:H23~H24)	山腹工 植生工 A=800m2 土留工 3基	山腹工 植生工 A=700m2 土留工 1基	山腹工 植生工 A=700m2 土留工 1基	評価時 (当初) H23	84%	H24事業完了を図る	当該渓流は急勾配河川で、崩壊後の不安定土砂については災害関連緊急砂防事業より対応済みであるが、崩壊斜面は今後の降雨により更に浸食し土石流が発生する懸念があることから、崩壊地の整備を行い、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 H22:災害関連緊急砂防事業対応箇所
						重要性 B						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。											

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
31	たの洞沢 平橋 (木曽町)	砂防堰堤工1基 H=11.0mL=58m 渓流保全工 護岸工L=235m (工期:H18~H24)	工事用道路借地 国道橋1橋 渓流保全工 L=20m	渓流保全工 L=75m 町道取付工 L=110m	渓流保全工L=75m 町道取付工 L=110m	評価時 (当初) H18	93%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定。	流域の荒廃が激しく、 土石流の発生の恐れ が高い。平成16年10月 の台風23号による土砂 流出では住宅にまで及 ぶ被害が発生している ことから、砂防堰堤工 による速やかな土砂災 害対策を行い、平成24 年度完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										
32	さく桜沢 新町 (木曽町)	砂防堰堤 1基 H=14.5m L=55.0m (工期:H22~H26)	用地測量 1式 用地買収・補償 1式 工事用道路 1式	砂防堰堤工1基 H=5.5m L=33m V=1,000m3	砂防堰堤工1基 H=14.5m L=55m V=4,960m3	評価時 (当初) H22	22%	計画どおり進んでいる。 H24に砂防堰堤の本工事着手予定。	流域の荒廃が激しく、 土石流の発生の恐れ が高い。保全対象に は、19号、JR中央西 線、木曽警察署があ り、砂防堰堤工による 速やかな土砂災害対策 が必要である。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
	緊急性 A	住民参加状況等 特になし										
33	みなみほろさわ 南洞沢 おおや 大屋 (木曽町)	砂防堰堤 1基 H=8.5m L=87.0m 渓流保全工 L=350m (工期:H23~H27)	調査、測量、設計 1式	調査、測量、設 計 1式	砂防堰堤工1基 H=8.5mL=87m 渓流保全工 L=350m	評価時 (当初) H23	10%	計画どおり進んでいる。 H23に調査等実施し、H24に用地買収及び工 事を着手予定。	流域の荒廃が激しく、 S58、H18に土砂の流出 により下流集落が被害 を受けている。保全対 象には、人家28戸、公 共施設(公民館)があ り、砂防堰堤工による 速やかな土砂災害対策 が必要である。 平成27年度事業完了に 努める。	重要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
	緊急性 A	住民参加状況等 特になし										

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (変更)	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
37	あしがら 海岸寺沢 ひがしきりばら 東桐原 (松本市)	砂防堰堤工 H=12m,L=149m (工期:H22~H26)	環境調査 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	環境調査 1式 用地補償 1式 付替道路工 L=120m	砂防堰堤工 H=12m,L=144.6m	評価時 (当初) H24	9%	H24は付替道路工に着手予定。	当流域の荒廃は激しく、溪床には不安定な堆積物が多く存在している。保全人家も多く、県道、公民館、観光施設が保全対象に含まれ、地元要望も高い為、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 近隣にて、貴重種(猛禽類)の飛翔が確認されているため、繁殖活動へ影響が出ないよう環境調査を実施し、その対応を環境検討員会にて検討していく。 H24変更:詳細設計により、事業費2億円増
						重要性 A						
						効率性 A						
	4億円	880万円	5500万円	3億6900万円	緊急性 A	住民参加状況等 地区全体説明参加、地権者説明会参加、用地立会合意						
38	しほがわ 半伏川 半伏 (松本市)	山腹工 A=32ha (林相転換) (工期:H21~H30)	山腹工 A=5.4ha (林相転換)	山腹工 A=13ha (林相転換)	山腹工 A=32ha (林相転換)	評価時 (当初) H21	14%	計画どおり進んでいる。 H24はH23に引き続き林相転換を実施予定。	当流域は、過去度重なる災害のため明治初期から土砂災害対策がとられてきた。上流域の森林を健全なものとし土砂流出抑制の為、林相転換が必要である。	必要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H19まで実施した林相転換の手法をH20に検証した結果に基づき、H21より「まき枯らし」の手法を取り入れ林相転換を実施している。
						重要性 B						
						効率性 A						
	2億円	990万円	2000万円	1億7260万円	緊急性 B	住民参加状況等 下流の砂防施設の維持管理を既に地域で行っている。今後は上流林相転換実施地への参加についても地域との協働を目指す。						
39	あなだま 穴田沢 原 (松本市)	土石流堆積工 L=94m (工期:H20~H24)	土石流堆積工 L=73.1m	土石流堆積工 L=20.9m	土石流堆積工 L=20.9m	評価時 (当初) H20	84%	計画どおり進んでいる。 H24完成予定	本溪流の下流には人家23戸があるものの、砂防施設等が未整備であるため、土石流による被害が懸念される。よって平成24年度の完成を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし
						重要性 A						
						効率性 A						
	2億3930万円	5150万円	4000万円	4000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
40	なかがわ 中沢 しんでん 新田 (松本市)	砂防堰堤工 1基 2号 H=9.0m、L=100.0m 〔工期：H22～H25〕	用地補償 1式 付替道路工 L=200m 砂防堰堤工2号 H=12.3m、L=17.6m	砂防堰堤工2号 H=12.3m、L=72.4 m	鋼製スリット工(B 型) H=8.7m	評価時 (当初) H22	24%	計画どおり進んでいる。 H23から2号砂防堰堤工の着手。H25完了予定。	平成18年7月豪雨による土石流災害の復旧工事であり、砂防堰堤工等による速やかな土砂災害対策が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 H22: 荒廃の著しい中沢本川へ砂防堰堤工追加。 1号堰堤: H18災関 溪流保全工: H19～H21特緊 B/C(費用対効果)=33.83
						重要性 B						
						効率性 A						
		2億5000万円	5620万円	8000万円	1億8280万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
41	かわとりかわ 川鳥川 またあゆ 北小野 (塩尻市)	砂防堰堤工 H=10m L=69.5m 〔工期：H21～H26〕	用地補償一式 付替道路工 L=250m	砂防堰堤工 H=8m L=50m	砂防堰堤工 H=10m L=69.5m	評価時 (当初) H21	26%	H24は用地補償及び本工事に着手予定。	当流域は平成18年に土砂流出が発生すると共に、流域の荒廃が進み、渓床には不安定な土砂が多く堆積し、渓岸浸食も著しい。次期降雨により土砂流出の危険性が高く保全対象には災害時要援護者施設(保育園)、中学校があり砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H24変更: 工期1年増 B/C(費用対効果)=23.30
						重要性 A						
						効率性 A						
		2億円	1610万円	4000万円	1億6150万円	緊急性 A	住民参加状況等 地元地区から要望が挙がり、毎年現地立会を行っている。					
42	かわたりさわ 川鳥沢 みなみはら 南原 (塩尻市)	砂防堰堤工 2基 H=9.0m L=94.5m H=8.0m L=35.0m 〔工期：H23～H27〕	管理用道路工 L=200m	用地測量一式 用地補償一式	堰堤工 2基 H=9.0m L=94.5m H=8.0m L=35.0m	評価時 (当初) H23	6%	H23計画どおり進んでいる。 H24から用地補償、工事着手予定。	渓流には過去に流出したと見られる不安定土砂が堆積しており、降雨による土砂流出の危険性が高く、保全対象に災害時要援護者施設である老人保健施設があることから、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし B/C(費用対効果)= 13.20
						重要性 A						
						効率性 A						
		3億円	1940万円	2000万円	2億8060万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
43	ふじの尾沢川 とよさと 豊里 〔安曇野市〕	土石流堆積工 L=230.1m 床固工 3基 〔工期：H19～H25〕	3号床固工 1基	2号床固工 1基 土石流堆積工 L=160m	土石流堆積工 L=170.1m 床固工 1基	評価時 (当初) H19	60%	H24は、2号床固工の工事着手予定。	花崗岩のマサ化は広範囲に及び、流域内には多くの不安定土砂が存在しているため、土石流堆積工による速やかな土砂災害対策が必要である。	予定工期内の完了を図る。	「継続」	
		必要性 B										
		重要性 A				特記事項 治山事業連携箇所 H24変更：工期1年増						
		効率性 A				B/C(費用対効果)=4.16						
	4億3000万円	7510万円	1億2000万円	1億6090万円	緊急性 A	住民参加状況等 事業への関心が高く、地域参加型の維持管理体制(土砂撤去及び除草)を模索中である。						
44	こはら沢 みなみおくら 南小倉 〔安曇野市〕	砂防堰堤工 3基 H=100m L=67.0m H=11.0m L=46.0m H=7.0m L=40.0m 〔工期：H22～H27〕	用地測量 1式	用地補償 1式	砂防堰堤工 3基 H=100m L=67.0m H=11.0m L=46.0m H=7.0m L=40.0m	評価時 (当初) H22	9%	用地測量が完了し、H24は用地補償を実施予定。	流域は地質的にも、脆弱であり渓床堆積物の流出が懸念されるため速やかな土砂災害対策の整備が必要である。また、保全対象には主要地方道及び避難施設があるため重要性が高い。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		必要性 A				特記事項 特になし						
		重要性 A										
		効率性 A										B/C(費用対効果)=3.03
	3億5000万円	530万円	1000万円	3億1600万円	緊急性 A	住民参加状況等 事業への関心が高く、地域参加型の維持管理体制(土砂撤去及び除草)を模索中である。						
45	まかわ 乳川 ちかほに 乳川谷 〔大町市〕	砂防堰堤工 1基 H=13.0m L=140.0m 林道付替工L=800.0m 既設砂防堰堤スリット化 1基 〔工期：H11～H26〕	既設砂防堰堤スリット化 H=2.0m	既設砂防堰堤スリット化 H=2.0m	既設砂防堰堤スリット化 H=6.2m	評価時 (当初) H11	93%	計画どおり進んでいる。H24は引き続き既設砂防堰堤スリット化(H=2.0m)を実施予定。	保全対象人家が多数あり必要性が高い。また、過去の災害発生を踏まえ地域要望も強い。既設堰堤のスリット化について、段階的な施工方法をとっており現在、その影響について調査中である。	重要性が認められる。	「継続」	
		必要性 B				特記事項 砂防堰堤工:H11～H17 スリット化 :H18～H26						
		重要性 A										
		効率性 A										B/C(費用対効果)=15.12
	15億9000万円	2910万円	3000万円	1億1290万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
46	八徳沢 やまだまち 山田町 (大町市)	砂防堰堤工 1基 H=13.5m L=54.0m (工期:H20~H24)	砂防堰堤工1基 H=4.0m L=32.2m 工用道路工 L=120m 管理用道路工 L=52.0m	管理用道路工 L=110.0m	管理用道路工 L=110.0m	評価時 (当初) H20	84%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定。	平成16年10月の台風 23号による豪雨では、 市道及び人家に土砂が 流出しており、また、平 成18年7月の豪雨でも 渓床及び溪岸の浸食も 進んでいるため、砂防 堰堤工による早急な土 砂災害対策が必要であ り、平成24年度完了を 図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
	2億5060万円	6600万円	4000万円	4000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
47	ぬのびき 布引沢 やて 上手 (大町市)	砂防堰堤工 2基 1号砂防堰堤 H=10.0m L=61.0m 2号砂防堰堤 H=9.0m L=75.6m (工期:H21~H27)	用地交渉	用地補償 1式	砂防堰堤工 2基 1号砂防堰堤 H=10.0m L=61.0m 2号砂防堰堤 H=9.0m L=75.6m	評価時 (当初) H21	12%	共有地用地買収に時間を要しているが、H24 用地買収予定。	平成16年7月の集中豪 雨時には土砂が流出し ており、また溪流沿い は浸食崩壊が見られ、 渓床堆積物の増加もす ずみ土石流の発生が 懸念されることから砂 防堰堤工による速やか な土砂災害対策が必要 である。	重要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
	3億5000万円	円	1400万円	3億820万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
48	げれまわ 崩沢 ひがしうみのくち 東海ノ口 (大町市)	砂防堰堤工 2基 1号砂防堰堤 H=8.5m L=43.0m 2号砂防堰堤 H=9.0m L=46.0m (工期:H23~H27)	環境調査、測量 設計、地質調査 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 工用道路工 L=250m	砂防堰堤工 2基 1号砂防堰堤 H=8.5m L=43.0m 2号砂防堰堤 H=9.0m L=46.0m	評価時 (当初) H23	14%	計画どおり進んでいる。 H24は用地測量、用地買収をし、工用道路 に着手予定	当流域には、渓岸侵食 による土砂流出発生源 と多くの倒木が存在し ている。保全対象まで 沢出口が迫っており、 次期降雨による土砂と 流木の流出により保全 対象への被害が懸念さ れる。そのため、速や かな土砂災害対策が必 要である。	重要性が高く、緊急 性も認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
	3億5000万円	4600万円	2000万円	3億410万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	事業箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
49	ふりがな 壱の沢 池ノ平 (大町市)	砂防堰堤工 2基 1号H=11.0m L=57.0m 2号H=12.0m L=70.0m (工期:H17~H28)	1号堰堤 前庭保護工 1 式	休止	砂防堰堤工 1基 2号H=12.0m L=70.0m	評価時 (当初) H17	55%	H23までに1号堰堤完了、H24は工事を休止	事業予定箇所の2号堰堤の用地交渉において、地元調整難航により平成24年度は休止としたい。	予定工期内の完了を図る。	「休止」	
		3億5000万円	700万円	円	1億565万2千円	必要性 B	特記事項 事業予定箇所の2号堰堤の用地交渉において、地元調整難航により平成24年度は休止、 H24変更:工期4年延長					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=5.10					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。					
50	くまやまがわ 草山川 たけのこ 竹尾北 (千曲市)	砂防堰堤工 2基 H=9.5m L=33.0~72.0m (工期:H23~H27)	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	砂防堰堤工 2基 H=9.5m L=33.0~76.0m	評価時 (当初) H23	10%	計画どおり進んでいる。	当流域には、不安定な 渓床堆積物と多くの倒 木が存在しており、次 期降雨による、土砂と 流木の流出と保全対象 への被害が懸念され、 速やかな土砂災害災害 対策が必要である。	緊急性が認められ る。	「継続」	
		3億円	3000万円	1000万円	2億7000万円	必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 B	B/C(費用対効果)=13.56					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし					
51	ひかげさわ 日影沢 さんぼんぎ-あちや 三本木~新 ま 山 (千曲市)	砂防堰堤工 1基 1号H=6.0mL=31.5m 渓流保全工 護岸工L=440m 付替橋梁 3基 (工期:H20~H28)	1号堰堤工 H=2mL=11.5m 渓流保全工	渓流保全工 用水ゲート移設 工 1式	渓流保全工 付替橋梁詳細設計 (市道) 1式 用水ゲート移設工 1式 護岸工L=440m 付替橋梁 3基	評価時 (当初) H20	19%	計画どおり進んでいる。 1号堰堤はH23に完了。	平成16年10月の台風 23号では、下流の河道 が閉塞し、学校施設等 へ氾濫した。また、近年 の降雨により渓流内では 極端な浸食・堆積が 見られるため、渓床及 び渓岸の安定化を図る 施設整備を早急に実施 する必要がある。	重要性、必要性が認 められる。	「継続」	
		8億円	1380万円	4700万円	6億5260万円	必要性 A	特記事項 特になし					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=8.28					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
52	滝ノ入 こまば 駒場 (高山村)	砂防堰堤工1基 H=9.0m L=119.0m (工期:H19~H24)	砂防堰堤工1基 H=3.0m L=75.2m 工事用道路 L=170m	砂防堰堤工1基 H=3.5m L=10.3m	砂防堰堤工1基 H=3.5m L=10.3m	評価時 (当初) H19	83%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定。	流域の地質は脆弱であり、平成16年10月の台風23号による土砂流出も認められ、今後の集中豪雨等による土石流の発生も懸念されることから、速やかな土砂災害対策が必要であり、H24完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		3億2889万3千円	5500万円	2300万円	2300万円	必要性 A	特記事項 特になし。					
						重要性 A						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=3.89				
				緊急性 A	住民参加状況等 工事用道路の除草、除雪等は地元のボランティアにより実施する予定。							
53	たるさわがわ 樽沢川 みずなか 水中 (高山村)	砂防堰堤工2基 1号H=7.0mL=33.0m 2号H=9.0mL=25.0m (工期:H23~H27)	測量・調査・設計 1式	工事用道路工1 式 測量・調査・設計 1式	砂防堰堤工2基 1号H=7.0mL=33.0m 2号H=9.0mL=25.0m	評価時 (当初) H23	4%	H24に本工事(工事用道路工)に着手予定。	当流域には、不安定な 渓床堆積物と多くの倒 木が存在しており、保 全対象まで沢出口が 迫っている為、次期降 雨による、土砂と流木 の流出と保全対象への 被害が懸念される。保 全対象には、公民館が 含まれており、速やか な土砂災害対策が必要 である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		5億5000万円	1900万円	3000万円	5億3100万円	必要性 B	特記事項 特になし。					
						重要性 A						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=9.71				
				緊急性 A	住民参加状況等 段階毎に、地域への説明を適切に行っている。							
54	くまかわ 久保川 くま 久保 (高山村)	砂防堰堤工2基 1号H=9.5mL=102.0m 2号H=8.5mL=49.0m (工期:H20~H26)	休止	休止	砂防堰堤工2基 1号H=9.5mL=102.0 m 2号H=8.5mL=49.0 m	評価時 (当初) H20	10%	平成22年度詳細設計 平成23年度から休止	事業予定箇所の用地 買収において、地元調 整難航により、平成24 年度も休止とする。	重要性、緊急性が認められる。	「休止」	
		3億円	円	円	2億7120万円	必要性 B	特記事項 事業予定箇所の用地買収において、地元調整難航により、平成24年度も休止とする。					
						重要性 A						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=9.71				
				緊急性 A	住民参加状況等 段階毎に、地域への説明を適切に行っている。							

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別	補助	建設部 砂防課			
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
55	あおひかげざわ 大日影沢 にしじょう 西条 (長野市)	砂防堰堤工 2基 1号 H=14.5m L=85.0m 2号 H=9.0m L=40.0m (工期:H20~H26)	用地測量 1式 用地補償 1式	用地補償 1式 工用道路 L=300m	砂防堰堤工 2基 1号 H=14.5mL=85.0m 2号 H=9.0m L=40.0m	評価時 (変更) H24	19%	公図混乱区域が判明し、用地境界の確定が困難になったため、計画の変更が必要となった。 H24に用地買収を実施し、工用道路に着手予定。	平成16年10月の台風23号により、山腹の崩壊等が発生し、平成18年7月の豪雨により更に荒廃が進んでいるため、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完成を図る。	「継続」	
		2億5000万円	1780万円	5000万円	2億300万円	必要性 B						特記事項 H24変更:詳細設計により、堰堤2基から1基に変更、事業費1億5千万円減 工期2年増
						重要性 B						
						効率性 A						
					緊急性 A		住民参加状況等 特になし。					
56	うらまわ 裏沢 やまのんでん 山新田 (長野市)	床固工 1基 堰堤工 4基 1号堰堤工 H=7.0m L=106.7m 2号堰堤工 H=12.5m L=79.3m 3号堰堤工 H=13.5 L=70.0m 4号堰堤工 H=13.0m L=62.0 (工期:H13~H27)	3号堰堤工 1基 (CBBO型 51.9t) H=12.0 L=70.0m V=1,920m3 取付護岸工 1式	3号堰堤工 1基 (CBBO型 51.9t) H=12.0 L=10.0m V=1,000m3 取付護岸工 1式	2号堰堤工 H=12.5m L=79.3m 工用道路他	評価時 (変更) H24	73%	計画どおり進んでいる。H22より3号堰堤に着手し、H24に3号堰堤完了予定。	流域には、不安定な堆積物が多く、次期出水により土石流発生の危険性が高い。保全対象には、災害時要援護者施設(重要)もあり早急な土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		8億693万1千円	9320万円	6000万円	2億1853万8千円	必要性 A						特記事項 支川 砂防堰堤工3基 H13~H17 H21変更:環境調査結果により貴重種が確認されたため、3号堰堤の設計変更を行った。 H24変更:詳細設計により、堰堤5基を4基、床固工2基を1基に変更
						重要性 B						
						効率性 A						
					緊急性 A		住民参加状況等 特になし。					
57	たごがわ 田子川 たご 田子 (長野市)	砂防堰堤1基 H=13.5mL=75m (工期:H22~H25)	補償 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 工用道路 1式	砂防堰堤1基 H=12.5mL=75m	評価時 (当初) H22	7.7%	H24より工用道路着手予定。	当流域は、荒廃が進み、倒木も非常に多い状況である。未整備溪流でもあり、次期降雨により土砂、流木の流出が懸念され、保全対象に災害時要援護者施設もあることから早急な土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
		3億円	1万円	2000万円	2億7700万円	必要性 A						特記事項 H24変更:工期2年増
						重要性 A						
						効率性 A						
					緊急性 B		住民参加状況等 特になし。					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
61	ひがしかわ 東川 うえやま 上ノ山 (栄村)	砂防堰堤工 1基 堰堤(透過型) H=10.0m L=58.5m V=2,300m3 (工期:H23~H26)	地形測量 1式 地質調査 1式 詳細設計 1式	用地測量 1式 物件調査 1式 用地買収 1式 物件補償 1式	砂防堰堤工 1基 堰堤(透過型) H=10.0m L=58.5m V=2,300m3	評価時 (当初) H23	28%	計画どおり進んでいる。	本渓流は荒廃状況が著しい一方、砂防及び直接的な治山施設が無く、また保全対象として重要度が高い緊急輸送路の(国)117号やJR線があり、必要性、重要性、緊急性ともに高い。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		3億円	1300万円	2000万円	2億8700万円	必要性 B	特記事項 特になし。					
						重要性 A						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=3.99				
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
62	みなみあかさわ 南岡沢 なかしま 中島 (池田町)	砂防堰堤工 1基 H=10.5m, L=60.0m V=2743m3 (工期:H22~H25)	用地測量 1式 用地買収 1式 立木補償 1式 水道管移転補償 1式 林道付替工 1式	砂防堰堤工 1基 H=6.0m, L=34.0m V=1100m3	評価時 (当初) H22	25%	計画どおり進んでいる。 H24に砂防堰堤着手予定。	当流域の地質は脆弱であり、荒廃も激しい。渓流内には多くの不安定土砂と倒木が存在する。保全対象には、人家52戸と、避難所、水道施設があり砂防堰堤による速やかな土砂災害対策が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」		
		1億6000万円	1370万円	7000万円	1億3630万円	必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 B						
						効率性 A					B/C(費用対効果)=21.19	
					緊急性 A	住民参加状況等 施設完成後は、維持管理に協力願いたい旨をお願いしている。						
63	しょうせんまわ 生金沢 くまいり 熊の入 (筑北村)	砂防堰堤工 2基 2号 H=12.5mL=115.3m 渓流保全工 護岸工L=419m 床固工10基 1号H= 8.0mL=50.0m 渓流保全工 護岸工L=293.7m 床固工 6基 (工期:H18~H28)	床固工 4基	渓流保全工 護岸工L=138m 付替道路工 (工事用道路兼用) L=386.0m W=3.0(4.0)m	砂防堰堤工 1基 2号 H=12.5mL=115.3m 渓流保全工 護岸工L=129m 床固工2基	評価時 (当初) H18	45%	計画どおり進んでいる。 H24に付替道路(工事用道路兼用)の工事に着手予定。	平成16年度10月の台風23号により土石流災害が発生した渓流であり、早期に整備する必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		5億8000万円	6090万円	5000万円	3億1410万円	必要性 B	特記事項 平成16年災害関連緊急砂防事業対応箇所 H18~H20渓流保全工					
						重要性 A						
						効率性 B		B/C(費用対効果)=1.53				
					緊急性 A	住民参加状況等 特に無し						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助		建設部	砂防課
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (変更)	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
67	かじもとさわ 梶本沢 かじもと 梶本 (生坂村)	砂防堰堤工 2基 1号(不透過) H=12.5m L=43.0m 2号(不透過) H=6.0m L=31.0m 山腹工 上流A=5,000 m(筋工) 下流A=3,429m3(アン カー・横ボアリング・ 法枠工・排土工) 〔工期:H17~H26〕	山腹工(下流) アンカー工 29本	山腹工(下流) アンカー工 34本 横ボアリング工 L=120m 法枠工 A=400m2	2号砂防堰堤工 H=3.0m L=31.0m 山腹工(下流) 法枠工 A=400m2 排土工 V=8700m3	評価時 (変更) H24	61%	平成22年度事業で砂防堰堤2基が完成し、 事業完了の予定であったが、平成23年5月 の豪雨により2号堰堤右岸法面で地すべり性 の崩落があり、対策の必要が生じたため、事 業を延伸した。	平成16年10月の台風 23号により、左支川で 山腹崩壊が発生し大量 の不安定土砂が渓流 内に堆積しているた め、砂防えん堤工及び 山腹工による速やかな 土砂災害対策が必要で ある。	予定工期内での完 了を図る。	「拡大」	
		5億600万円	5410万円	5000万円	1億6390万円	必要性 B	特記事項 H24変更:平成23年度に地すべり崩落のあった2号堰堤右岸 法面対策を追加により、事業費(2億5946万円増)と工期(2年延 長)を変更	B/C(費用対効果)=1.67	住民参加状況等 特になし			
		重要性 A	B/C(費用対効果)=1.67	住民参加状況等 特になし								
		効率性 B										
緊急性 B												
68	きたさかいざわ 北境沢 のみそら野 (白馬村)	砂防堰堤工 1基 H=12.0m L=73.0m V=3930m3 〔工期:H19~H26〕	砂防堰堤工 基礎処理1式	砂防堰堤工 H=3.0m L=73.0m V=600m3 前処理工 1式	砂防堰堤工 H=8.0m L=73.0 V=800m3	評価時 (変更) H24	80%	引き続き、砂防堰堤の進捗を図る。	流域には山腹崩壊が見 られるとともに、地質的 にも脆弱な地域であり、 集中豪雨等による土石 流の発生、また雪崩に よる被害も予想される ことから、雪対策も考慮 しつつ、砂防堰堤工に よる速やかな土砂災害 対策を必要とする。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」	
		3億5000万円	720万円	5000万円	1億1920万円	必要性 B	特記事項 H24変更:地質確認の結果、事業費の増(5,120万円)、工期2年 増	B/C(費用対効果)=3.0	住民参加状況等 特になし			
		重要性 A										
		効率性 B										
緊急性 A												
69	かいどうさわ 海道沢 ほりのうち 堀之内 (白馬村)	砂防堰堤工 3基 1号 H=6.0m L=48.0m 2号 H=8.0m L=36.0m 3号 H=10.0 m L=63.0m 〔工期:H20~H27〕	3号堰堤 H=0.0m L=30.0m 鋼製スリット0t	3号堰堤 H=4.0m L=62.0m 鋼製スリット26t	砂防堰堤工 2基	評価時 (当初) H20	55%	H23から3号堰堤に着手し、3号堰堤はH24完 了予定。	平成18年の融雪及び 7月豪雨の影響により、 流域の崩壊とともに倒 木が発生しているた め、砂防堰堤工による 速やかな土砂災害対策 が必要である。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」	
		3億4000万円	930万円	6000万円	1億8310万円	必要性 B	特記事項 2号堰堤:H21~H22 H24変更:工期3年増	B/C(費用対効果)=1.9	住民参加状況等 地域の方々との連携を図り、砂防堰堤、流域周辺の崩壊地状 況に異常が認められた際の連絡体制の確立を目指していく。			
		重要性 A										
		効率性 A										
緊急性 A												

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
70	ふりがな 西東原沢 の 野平 (白馬村)	砂防堰堤工 2基 H=8.0m、L=48.5m、 H=6.5m、L=74.0m、 〔工期：H21～H25〕	砂防堰堤工 1基 H=2.0m、 48.5m、	工用道路 L=200m W=3.0 (4.0)m 堰堤工 1基 H=6.0m L=70.0m	堰堤工 1基 H=6.5m L=74.0m	評価時 (当初) H21	50%	計画どおり進んでいる。 H24から新規堰堤に着手予定。	流域には山腹崩壊が見られるとともに、地質的にも脆弱な地域であり、近年の降雨により溪床の不安定土塊が増加していることから、集中豪雨等による土石流の発生が懸念される。保全対象には避難所もあることから、砂防堰堤工による土砂災害対策が必要である。	土砂災害対策の必要性は認められる。	「継続」	
		3億円	6440万円	8000万円	1億1860万円	必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 B						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=3.56				
					緊急性 B	住民参加状況等 特になし						
71	どうく の 南谷地 (白馬村)	砂防堰堤工 2基 西沢 H=8.5m L=58.0m 東沢 H=9.5 L=51.0m 流木捕捉工 2基 路網整備 1式 〔工期：H22～H29〕	用地測量 用地買収・補償 工用道路	環境調査 1式 用地測量 1式 設計 1式	堰堤工 西沢 H=3.5m L=58.0m	評価時 (当初) H22	9%	計画どおり進んでいる。 H24から堰堤に着手予定。	当流域は、地質が脆弱で溪岸浸食の発生、不安定な溪床堆積物や倒木が多く、次期降雨による土砂流出が懸念される。保全対象には、地域の幹線道路である白馬美麻線もあり、災害時には広域的な影響が予想され、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		5億8000万円	4000万円	3000万円	5億3560万円	必要性 B	特記事項 クロスカウンターコースを工事、管理道路として整備、使用する。					
						重要性 A						
						効率性 B		B/C(費用対効果)=1.20				
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし						
72	どう の 虫尾 (小谷村)	砂防堰堤工 2基 H=8.0m L=45m H=6.5m L=55m 溪流保全工 L=70m 〔工期：H21～H27〕	工用道路工 L=270m	堰堤工 1基	堰堤工 1基 溪流保全工 L=70m	評価時 (当初) H21	17%	H24から砂防堰堤に着手予定。	溪流沿いは浸食・崩壊が見られ、また溪床の不安定土塊も増加しているため、集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念される。保全対象に緊急輸送路や避難施設もあることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		3億6000万円	2420万円	7000万円	3億380万円	必要性 B	特記事項 H23変更：工期2年増					
						重要性 A						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=2.65				
					緊急性 A	住民参加状況等 役場や自治会役員の意見を伺い、概略的な計画を検討し、計画策定に反映している。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助		建設部	砂防課
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
73	ふりがな 南黒川沢 (くかわ 黒川) (小谷村)	砂防堰堤工1基 H=11.5m L=67m V=3,700m ³ (工期:H21~H24)	砂防堰堤工 H=5.5m L=50m V=1,200m ³ 置換工 V=1,400m ³	砂防堰堤工 H=4.5m L=67m V=2,500m ³ 前処理工 1式 渓流保全工 L=25m	砂防堰堤工 H=4.5m L=67m V=2,500m ³ 前処理工 1式 渓流保全工L=25m	評価時 (当初) H21	72%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定。	流域には山腹崩壊が見られるとともに、地質的にも脆弱な地域であり、近年の降雨により溪床の不安定土塊が増加していることから、集中豪雨等による土石流の発生が懸念される。保全対象には避難所もあることから、砂防堰堤工による土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		3億2230万円	1億600万円	7900万円	7900万円	必要性 B	特記事項 特になし H24変更:事業費見直し					
						重要性 B						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.8				
					緊急性 A	住民参加状況等 地域の方々との連携を図り、砂防えん堤、流域周辺の崩壊地状況に異常が認められた際の連絡体制の確立を目指していく。						
74	みやざわ 宮沢 あおぞうげん 大草達 (小谷村)	砂防堰堤 1基 H=14.5m L=71.0m 工事用道路 L=615m W=3.0(4.0)m 調査、測量、設計 1式 (工期:H21~H27)	工事用道路 L=615m W=3.0(4.0)m 調査、測量、設計 1式	工事用道路 L=326m W=3.0(4.0)m 用地測量 1式 詳細設計 1式	砂防堰堤 1基 H=14.5m L=71.0m	評価時 (当初) H21	20%	計画どおり進んでいる。 H24に工事用道路完了予定。	当流域は、脆弱な地質の為、荒廃が激しく、溪岸の崩壊、溪床の不安定な堆積物が多く存在する。次期降雨による土砂流出の可能性が高いことから、地域の孤立化防止対策を含め早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		3億円	4940万円	3000万円	2億2420万円	必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 A						
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.71				
					緊急性 A	住民参加状況等 役場や地元の意見を伺い概略的な計画(新規堰堤計画位置)を検討し、計画策定に反映している。						
75	しみずさわがわ 清水沢川 たてま 立の間 (小谷村)	砂防堰堤工 1基 H=10.5m L=57m 分散堆積地工 1基 H=6.9m L=30m 管理用道路工 L=340m (工期:H21~H27)	管理用道路工 L=240m	用地測量 1式 用地補償 1式	堰堤工 1基 分散堆積地工 1基	評価時 (当初) H21	30%	H24に管理用道路を完了予定。	当流域は、平成7年に土砂流出が発生しており、その後も流域の荒廃は著しい。溪床には不安定な土砂が多く堆積し、次期降雨による土砂流出の危険性が高い。土砂流出の際には集落の孤立化が容易に予測されるため早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		3億7000万円	8390万円	1500万円	2億5260万円	必要性 B	特記事項 H24変更:工期1年増					
						重要性 A						
						効率性 B		B/C(費用対効果)=1.23				
					緊急性 A	住民参加状況等 立の間地区は白馬村と小谷村の境にあり、他の集落と隔たれた立地条件であり、道路に土砂災害が発生すれば集落は確実に孤立するため、地元住民は土砂災害に対し非常に関心が高い。						

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (変更)	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
76	高野やまさわ 杉山沢 やなぎせ 柳瀬 (小谷村)	砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=103m 管理用道路工 L=450m (工期:H23~H29)	測量、調査、設計	用地測量 1式 用地・補償 1式 管理用道路	堰堤工 1基	評価時 (変更) H24	6%	H24に管理用道路に着手	当流域には、溪岸侵食による土砂流出発生源と多くの倒木が存在している。河床勾配30°と急でかつ保全対象まで沢出口が迫っており、次期降雨による土砂と流木の流出により保全対象JR及び民家等への被害が懸念される。そのため、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
		必要性 B				特記事項 H24変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、砂防堰堤基数を2基から1基とする。						
		重要性 A										
		効率性 A										B/C(費用対効果)=4.15
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。											
77	つぶらたまさお 粒良田沢 やまが せ 山布施 (長野市)	砂防堰堤工1基 H=9.5m L=43.0m (工期:H21~H24)	砂防堰堤工1基 H=6.0m L=30.0m	溪流保全工 L=31.1m	溪流保全工 L=31.1m	評価時 (当初) H21	71%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定。	平成16年10月の台風23号時には土砂が流出しており、また溪流沿いは浸食崩壊が見られ、溪床堆積物の増加がすすんでいることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		必要性 B				特記事項 特になし。						
		重要性 A										
		効率性 A										B/C(費用対効果)=6.60
緊急性 A	住民参加状況等 特になし											
78	かねくほきお 川久保沢 たけふさ 竹房 (長野市)	砂防堰堤工1基 H=8.0m L=44.0m (工期:H21~H25)	工用用道路 L=166m	砂防堰堤工1基 H=6.0m L=37.3m	砂防堰堤工1基 H=2.0m L=44.0m	評価時 (当初) H21	24%	H24は砂防堰堤工に着手予定。	平成16年10月の台風23号時、平成18年7月の豪雨時に山腹崩壊が進み、また溪流沿いは浸食崩壊が見られ、溪床堆積物の増加がすすんでいる。また保全対象には、保育園や緊急輸送路もあり、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		必要性 A				特記事項 特になし。						
		重要性 A										
		効率性 A										B/C(費用対効果)=20.77
緊急性 A	住民参加状況等 今後、地元説明会等進める中で、維持管理の住民参加等についても検討していく。											

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別	補助	建設部	砂防課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (変更)	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
79	ふりがな 西之入川 かみいしかわ 上石川 (長野市)	砂防堰堤工1基 H=11.0m L=47.0m (工期:H23~H28)	測量・設計・調査 1式	用地測量 1式 用地買収 1式	砂防堰堤工1基 H=11.0m L=47.0m	評価時 (変更) H24	7%	計画どおり進んでいる。	当流域は、荒廃が激しく、上流域には大規模なとくしゃ地があり降雨時には土砂流出の危険性が高い。保全対象には、公民館(避難所)主要地方道があり砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		2億円	1400万円	1000万円	1億8600万円	必要性 B	特記事項 H24変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、事業費2億円減 B/C(費用対効果)=6.60 住民参加状況等 今後、地元説明会等進める中で、堆砂地の維持管理の住民参加等についても検討していく。				
		重要性 A									
		効率性 A									
80	かほね 蟹沢 よしむら 吉原 (長野市)	砂防堰堤工2基 1号H=11m L=36m 2号H=10m L=68m 溪流保全工 護岸工L=240m (工期:H21~H27)	工事用道路工	砂防堰堤工1基 H=6.0m L=28.0m	砂防堰堤工2基 1号H=11m L=36m 2号H=10m L=68m 溪流保全工 護岸工L=240m	評価時 (当初) H21	13%	H24から1号堰堤工事着手予定。	当流域は、荒廃が激しく、渓床に多くの倒木と不安定な渓床堆積物が存在し、次期降雨による土砂流出の危険性が高い。さらに、溪流保全工計画区間は天井川となっており、土砂流出時には被害を拡大させることが予想される。保全対象には地域のコミュニティ拠点である公民館と市道があり、災害時には地域の孤立化が懸念されるため、早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		4億円	3960万円	5000万円	3億3900万円	必要性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=8.86 住民参加状況等 吉原地区住民より、地区内の砂防施設や土砂流出など、積極的に自主監視し信更支所を通じ変状報告がある。				
		重要性 A									
		効率性 A									
81	たまき 滝の沢 しもおおが 下大岡 (長野市)	砂防堰堤工 2基 1号H=9.0m L=42.0m 2号H=14.5m L=48.6m (工期:H20~H25)	用地測量 1式	砂防堰堤工 2号 H=14.5m L=48.6m 用地補償 1式	砂防堰堤工 2号 H=14.5m L=48.6m	評価時 (当初) H20	51%	H24から2号堰堤工事着手予定。	平成18年7月の豪雨により、流域の崩壊とともに渓岸及び渓床の浸食が進んでいるため、砂防えん堤工による早急な土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		3億753万1千円	450万円	5000万円	1億4750万円	必要性 A	特記事項 1号堰堤工:H=20~H22 H24変更:工期1年増 B/C(費用対効果)=4.94 住民参加状況等 下大岡地区住民及び災害時要援護者施設の沢への関心が高く、降雨時などは自主的に監視し変状があれば大岡支所へ報告する連絡体制ができています。				
		重要性 B									
		効率性 A									

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(通常砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
82	だんほら 段ノ原沢 こまつばら 小松原 (長野市)	砂防堰堤工1基 H=9.0m L=61.5m (工期:H21~H26) 用地測量	用地買収	砂防堰堤工1基 H=9.0m L=61.5m 工用道路1式	評価時 (当初) H21	10%	計画どおり進んでいる。	平成16年10月の台風23号および平成18年7月豪雨等により、山腹崩壊が進み、溪床の不安定土塊も増加している。保全対象に老人福祉施設もあることから砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
					必要性 A						特記事項 特記なし
					重要性 A						
					効率性 A						
	1億8000万円	300万円	1000万円	1億6236万7千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
83	おかだがわ 岡田川 おかだ 岡田 (長野市)	砂防堰堤工2基 H=10.5mL=41.0m・ H=11.0mL=35.0m 工用道路L=300.0m 溪畔林整備A=2,000 m ² (工期:H23~H27)	設計1式 用地測量 用地買収	工用道路1式 溪畔林整備 A=2,000m ²	評価時 (当初) H23	54%	H22災関緊急砂防事業を実施し、通常事業については、災害関連事業との調整を図り計画通りの進捗である。	当流域は、非常に脆弱な地質で平成16年、平成18年の降雨により著しく荒廃が進んでいる。多くの施設が過去整備されたものの、未だに下流域への掃流土砂による河積阻害が著しい。不安定な溪床堆積物が多く存在することから次期降雨により土砂流出の危険が高く、災害時要援護者施設、水道施設等重要な保全対象を抱えることから速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
					必要性 A						特記事項 H22災関緊急砂防事業採択。(採択額131,469千円)
					重要性 A						
					効率性 A						
	2億6000万円	1210万円	4000万円	1億8150万円	緊急性 B	住民参加状況等 平成22年7月梅雨前線豪雨被災により地元地区注視。					
84	やくしざわ 薬師沢 いぼか 稲丘 (小川村)	砂防堰堤工3基 1号 H=9.5m L=39.0m 2号 H=9.0m L=52.5m 3号 H=14.5m L=42.6m (工期:H21~H27)	3号 砂防堰堤工1基 H=5.5m L=24.0m	3号 砂防堰堤工1基 H=14.5m L=42.6m	評価時 (当初) H21	34%	H22に工用道路を施工し、H23は本堤工事に着手、H24に3号砂防堰堤完了予定。	当流域は、脆弱な地質により荒廃が激しく、不安定な溪床堆積物と倒木が多く、降雨による土砂流出が懸念される。保全対象には、避難所、水道施設、薬師温泉等があり、災害時の地域に与える影響は大きく、早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」	
					必要性 C						特記事項 周辺砂防施設は登録有形文化材の指定を受けており、地域ぐるみでの保全活動を実施している。 H24変更:工期1年増
					重要性 A						
					効率性 A						
	4億円	8220万円	8500万円	2億4270万円	緊急性 A	住民参加状況等 稲丘東区は、明治18年より砂防惣代なる住民自主組織が造られ、現在に至る120年余に渡り、砂防施設の維持管理を行っている。地域住民の内発的な活動が強い。					
合計	84箇所	307億9513万1千円	30億5293万円	39億500万円	182億8870万1千円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		砂防施設整備				事業番号、事業名		8 砂防事業費(火山砂防事業)		補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況							
1	いくぼまわ 居久保沢 たかねちよう 高根町 (小海町)	砂防堰堤工 2基 1号H=10.0m L=45.0m 2号H=10.0m L=40.0m (工期:H23~H28)	測量設計 1式 地質調査 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 測量設計 1式 地質調査 1式	仮設道路工 1式 砂防堰堤工 2基 1号H=10.0m L=45.0m 2号H=10.0m L=40.0m	評価時 (当初) H23	4%	計画どおり進んでいる。	当箇所は下流に病院、郵便局、国道の他、災害時要援護者施設等の重要施設がある。火山噴出物からなる地質により脆弱で、斜面の随所が荒廃しており、大雨時における土砂流出が懸念されており、砂防堰堤工による早急の対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」				
						必要性 A						特記事項 特になし。			
						重要性 A									
						効率性 A							B/C(費用対効果)= 24.74		
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。														
2	こべつどう 小別堂 さなだ 真田 (上田市)	砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=72.0m 土石流堆積工 H=4.0m L=100.0m (工期:H21~H27)	調査 1式 測量設計 1式	用地測量 1式 用補 1式 工事用道路 L=500m	砂防堰堤工 H=9.5m L=72.0m 土石流堆積工 H=4.0m L=100.0m	評価時 (当初) H21	20%	計画どおり進んでいる。堆砂敷内の管水路の検討が必要となり、予定より遅れている。H24は工事用道路に着手予定。	渓流沿いは浸食・崩壊が見られ、また渓床の不安定土塊も増加しているため、集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念される。保全対象に小学校や避難路もあり、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」				
						必要性 A						特記事項 特になし。			
						重要性 B									
						効率性 A							B/C(費用対効果)=12.3		
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。														
3	せんぼんきかわ 千本木川 おお 大和 (諏訪市)	砂防堰堤工 2基 1号 H=14.5mL=110m 2号 H=12.5mL=90m (工期:H22~H26)	用地測量 環境調査	用地補償 1式 物件調査 1式 付替道路工 L=100m	砂防堰堤工 2基 1号 H=14.0mL=110m 2号 H=12.5mL=90m	評価時 (当初) H22	11%	H24用地買収・物件補償実施予定	保全対象には多くの人家と、JR、国道20号があり災害地の地域への影響が大きいことから速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」				
						必要性 A						特記事項 特になし。			
						重要性 A									
						効率性 A							B/C(費用対効果)=60.3		
緊急性 A	住民参加状況等 特になし														

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(火山砂防事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
4	せまかわ 関川 ななかわ 高沢 (信濃町)	溪流保全工 護岸工 L=710m 床固工 1基 帯工 16基 (工期:H20~H25)	溪流保全工 護岸工L=160m	床固工 1基 溪流保全工 L=60m	溪流保全工 護岸工L=230m 床固工 1基 帯工 9基	評価時 (当初) H20	71%	H21用地買収が完了し、本工事に着手。H24は、引き続き床固工の整備を行う。	平成7年7月豪雨に対する施設整備の一環として、新潟県と歩調を合わせて取り組む必要がある。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
		2億5000万円	1億100万円	4000万円	7260万円	必要性 A	特記事項 新潟県と事業進捗調整をしつつ、効率的な事業実施を行っている。 B/C(費用対効果)=19.51					
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。											
5	にしわくいき 西浦井沢 わくい 浦井 (中野市)	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=41.0m (工期:H21~H25)	砂防堰堤工 1基 H=3.0m L=24.0m	砂防堰堤工 1基 H=3.0m L=41.0m	砂防堰堤工 1基 H=9.0m L=41.0m	評価時 (当初) H21	64%	計画どおり進んでいる。H24に堰堤完了予定。	近年の降雨により溪岸浸食がすすみ、倒木も多数見受けられる。保全対象には緊急輸送路もあり、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」	
		2億円	7100万円	4500万円	1億50万円	必要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=17.5					
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。											
6	よまぎかわ 夜間瀬川 こし 越 (中野市)	溪流保全工 護岸工 L=3,000m 床固工 10基 (工期:H12~H27)	床固工1基	床固工1基	溪流保全工 L=1300m 床固工 4基	評価時 (当初) H12	83%	計画どおり進んでいる。H24チョウゲンボウ2号床固工が完了予定。	多数の人家や公共施設等の保全対象があり、必要性は高く、地形、地質といった災害素因からも早急な土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
		25億3680万円	2550万円	1億円	2億8220万円	必要性 A	特記事項 第1期:H12~H16 第2期:H17~H27 床固工 5基:H12~H16 溪流保全工L=1,500m:H12~H16					
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。											

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(火山砂防事業)				補助・単独別	補助	建設部	砂防課	
番号	みりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	よこゆかわ 横湯川 おちあい 落合 (山ノ内町)	砂防堰堤工3基 新仏岩1号堰堤 H=14.5m L=95.0m 新仏岩2号堰堤 H=14.5m L=55.0m 新落合堰堤 H=11.0m L=85.0m 一の沢山腹工 A=1.3ha (工期:H12~H29)	新仏岩1号 堰堤工 本堤掘削工 V=10,000m3 基礎地盤改良 V=2,727m3	新仏岩1号 堰堤工 H=4.5m L=55m V=3,400m3	砂防堰堤工3基 新仏岩1号堰堤 H=13.5m L=97.0m 新仏岩2号堰堤 H=14.5m L=55.0m 新落合堰堤 H=11.0m L=85.0m	評価時 (変更) H22	26%	計画どおり進んでいる。	多数の人家や公共施設等の保全対象があり、必要性は高い。また、災害履歴があり地域要望も高いため砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H22計画変更:詳細設計、事業費3億1千4百万円減。工期5年増。 第1期:H12~H20(一の沢山腹工) 第2期:H21~(新仏岩1号堰堤工)				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.34				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
8	いけ さわか 池の沢川 ひがねおたき 東大滝 (野沢温泉村)	砂防堰堤工 1基 1号 H=9.5mL=78m (工期:H20~H24)	1号砂防堰堤工 H=9.5m L=78m	1号砂防堰堤工 H=9.5mL=30.5m 付替道路工 1式	1号砂防堰堤工 H=9.5mL=30.5m 付替道路工 1式	評価時 (変更) H24	68%	計画どおり進んでいる。 H24に1号堰堤完了予定。	平成17年8月の豪雨により、流域の荒廃、溪岸及び溪床の浸食が進み、その後の融雪、降雨等により更に拡大進行してきているため、砂防堰堤工等による早急な土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、砂防堰堤基数を2基から1基とし、事業費5億円から2億5千万円に減。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.18				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
9	つがいりき 梅池沢 つがいけ 梅池 (小谷村)	砂防堰堤工 2基 梅池沢堰堤H=14.0m L=169.5m はんのき沢堰堤 H=9.5m L=100.5m (工期:H23~H31)	詳細設計 1式 地質調査 1式 地形測量 1式	用地測量 1式 用地、補償 1式	砂防堰堤工 2基 梅池沢堰堤 H=14.0m L=169.5m はんのき沢堰堤 H=9.5m L=100.5m	評価時 (当初) H23	2%	計画どおり進んでいる。	当流域には、不安定な溪床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には県道、避難所2戸及び村の主要な観光・宿泊施設が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.50				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
合計	9箇所	76億840万円	4億5500万円	5億5000万円	41億9750万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(総合流域防災事業)				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
1	ようかまちさわ 八日町沢 ようかまち 八日町 (上田市)	砂防堰堤工 1基 H=7.0mL=97.0m (工期:H21~H25)	用地測量 1式 用地補償 1式 工事用道路工 L=580.0m	砂防堰堤工 H=7.0m L=97.0m	砂防堰堤工 H=7.0m L=97.0m	評価時 (当初) H21	30%	計画どおり進んでいる。 H24は砂防堰堤工に着手予定。	近年の降雨により溪岸侵食がすすみ、溪床の不安定土塊も増加しており、土石流の発生が懸念される。保全対象に幼稚園や小学校等もあり、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H24変更:事業費の見直し
						重要性 B						
						効率性 A						
		2億6500万円	6840万円	8000万円	1億5160万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
2	こい沢 みどりおか 緑ヶ丘 (上田市)	砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=61.0m (工期:H21~H25)	休止	休止	砂防堰堤工 1基 H=9.5m L=61.0m	評価時 (当初) H21	11%	平成23年度から休止。	事業予定箇所の用地買収において、地元調整難航により、平成24年度も休止とする。	必要性、緊急性が認められる。	「休止」	
						必要性 A						特記事項 事業予定箇所の用地買収において、地元調整難航により、平成24年度も休止とする。
						重要性 B						
						効率性 A						
		3億5000万円	円	円	3億650万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
3	みやざわ 宮沢川 おおこうち 大河内 (天龍村)	(宮沢川) 2基 新設 H=10m L=41m 改修 H=1.0m(嵩上げ) (軒山沢) 1基 改修 H=11m L=45m (工期:H23~H27)	測量・調査 砂防堰堤細設計	工事用道路工 用地測量 1式	(宮沢川) 2基 新設 H=10m L=41m 改修 H=1.0m(嵩上げ) (軒山沢) 1基 改修 H=11.0m	評価時 (変更) H24	7%	計画どおり進んでいる。 整備方針について地元と調整中。	既設堰堤の老朽化が著しく、上流の荒廃も進んでいる。避難施設である集会所が特別警戒区域にあり、また県道が分断されると集落が孤立化する恐れがあるため早急な対策が必要である。	重要性が認められる。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 H24変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、事業費を8,000万円増
						重要性 A						
						効率性 A						
		2億8000万円	1950万円	1000万円	2億6050万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費(総合流域防災事業)				補助・単独別	補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	みなみかわ 南沢 ひらさわ 平沢 (伊那市)	既設堰堤嵩上げ工1基 床固工4基 溪流保全工 L=170m (工期:H23~H30)	測量・調査 砂防堰堤細設計	床固工1基 用地測量 1式 用地補償 1式	既設堰堤嵩上げ工1基 床固工3基 溪流保全工 L=170m	評価時 (当初) H23	2%	H24に本工事(床固工)着手予定	平成16,18年の豪雨により流域が荒廃し、災害のポテンシャルが高まっており、砂防堰堤、溪流保全工による土砂災害対策が必要である。	重要性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:事業費見直し B/C(費用対効果)=3.16				
						重要性 A					
						効率性 A					
		9億2000万円	1100万円	6000万円	9億900万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
5	まえやまさわ 前山沢 ほっしょう 八町 (須坂市)	砂防堰堤工 2基 (工期:H23~H30)	測量・調査 砂防堰堤細設計	用地測量 1式 水文調査 1式	砂防堰堤工 2基	評価時 (変更) H24	2%	H24に本工事(工事用道路工)に着手予定。	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には、災害時要援護者施設が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24変更:地形測量及び堰堤詳細設計完了の結果、砂防堰堤基数を4基から2基とする。事業費5億5,000万円減 B/C(費用対効果)=4.89				
						重要性 A					
						効率性 A					
		5億円	2400万円	1000万円	4億7600万円	緊急性 A	住民参加状況等 段階毎に、地域への説明を適切に行っている。				
合計	5箇所	23億1500万円	1億2290万円	1億6000万円	21億360万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野		砂防施設整備				事業番号、事業名 8 砂防事業費(特定緊急砂防事業)				補助・単独別		補助		建設部 砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況							
1	横手ノ沢 こまゆみじんしゃう 子檀嶺神社 上 (青木村)	砂防堰堤工 1基 H=10m L=30m 渓流保全工 L=80m (工期: H23 ~ H24)	渓流保全工 L=80m	砂防堰堤工1基 H=10m L=30m	砂防堰堤工1基 H=10m L=30m	評価時 (当初) H23	20%	計画どおり進んでいる。	平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、下流域に被害を与えた。渓流内には不安定土砂が堆積しており、次期集中豪雨等により土石流、流木の発生が懸念されることから、砂防堰堤工による速やかな土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」				
		1億円	2000万円	8000万円	8000万円	必要性 B	特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択								
						重要性 A									
						効率性 A		B/C(費用対効果)=4.7							
				緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										
2	あなやあわ 穴山川 さわろこ 沢底 (辰野町)	砂防堰堤工 1基 2号 H=7.0m L=34m (工期: H22 ~ H24)	砂防堰堤 1基 V=770m3	砂防堰堤 1基 V=150m3	砂防堰堤 1基 V=150m3	評価時 (当初) H22	90%	災害フォローとして平成22年度より着手。 H24砂防堰堤本体工事完了予定。	平成18年7月の豪雨で土砂流出が発生し、平成21年8月にも土石流が発生しており、砂防堰堤工による早急な土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」				
		1億4000万円	7225万円	2355万円	2355万円	必要性 B	特記事項 H21年8月台風9号により土砂が流出し被災したことから、1号砂防堰堤は災関対応 2号砂防堰堤はH21~24特急対応 3号砂防堰堤は通常事業で対応している。								
						重要性 A									
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.71							
				緊急性 B	住民参加状況等 特になし。										
3	こくすかわ 小楠川 かみすかわ 上楠川 (長野市)	渓流保全工 護岸工L=145m 床固工 6基 (工期: H22 ~ H24)	測量・設計 1式 用地補償 1式 渓流保全工 護岸工L=100m	用地補償 1式	用地補償 1式	評価時 (当初) H22	93%	計画どおり進んでいる。 H21災関にて1号堰堤工本堤完了。	当流域は、平成21年8月の豪雨により土石流災害が発生し、人家1戸が被災した。また、上流域には、大量の不安定土砂が堆積しており、次期降雨により土砂、流木の流出が懸念されていることから早急な土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」				
		1億9000万円	1億2900万円	1400万円	1400万円	必要性 B	特記事項 H21年度8月台風9号により、土砂流出が発生し、災害関連緊急砂防によって対応した。 1号堰堤: 災関H21								
						重要性 A									
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.72							
				緊急性 A	住民参加状況等 特になし										

分野	砂防施設整備	事業番号、事業名	8 砂防事業費 (特定緊急砂防事業)				補助・単独別	補助	建設部	砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	さみずさわ 三水沢 さみず 三水 (長野市)	溪流保全工 L=100.0m (工期: H23 ~ H24)	砂防堰堤工 前処理工 1式 溪流保全工 L=30m	溪流保全工 L=70m	溪流保全工L=70m	評価時 (当初) H23	74%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定。	本溪流は平成22年7月16日の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、人家1戸が被災し、主要地方道が破損し通行止となる等の被害を被った。流域内の土砂堆積状況を見ると、今後も土石流の流下のおそれが非常に大きいため、速やかな土砂災害対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H22年度7月梅雨前線豪雨により、土石流が発生し、災害関連緊急砂防によって対応した。				
						重要性 A					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.01			
	2億3000万円	9000万円	6000万円	6000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
5	かわくぼさわ 川久保沢 さみず 三水 (長野市)	溪流保全工 L=300m (工期: H23 ~ H25)	砂防堰堤工 前処理工 1式 溪流保全工 L=50m	溪流保全工 L=60m	溪流保全工L=250m	評価時 (当初) H23	53%	計画どおり進んでいる。 H25完了予定。	本溪流は平成22年7月16日の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、人家1戸が被災し、主要地方道が破損し通行止となる等の被害を被った。流域内の土砂堆積状況を見ると、今後も土石流の流下のおそれが非常に大きいため、継続としたい。	緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H22年度7月梅雨前線豪雨により、土石流が発生し、災害関連緊急砂防によって対応した。				
						重要性 B					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.38			
	2億円	4140万円	7250万円	9340万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
6	いまいずみさわ 今泉沢 いまいずみ 今泉 (長野市)	溪流保全工 L=278m (工期: H23 ~ H25)	溪流保全工 L=160m	溪流保全工 L=55m	溪流保全工 L=118m	評価時 (当初) H23	60%	計画どおり進んでいる。 H25完了予定。	当溪流は平成22年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、上流域にも未だに不安定土砂が残っており、次期降雨により土石流の再生の可能性が高いため、速やかな土砂対策が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H22災害関連緊急砂防事業採択。(採択額131,469千円)				
						重要性 B					
						効率性 A		B/C(費用対効果)=1.22			
	1億5000万円	1億600万円	3000万円	4400万円	緊急性 A	住民参加状況等 平成22年7月梅雨前線豪雨被災により地元地区注視。					
合計	6箇所	1億5000万円	1億600万円	3000万円	4400万円	A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満					